

思い思いの秋を楽しみました！



福岡都市圏から募集したところ、定員を上回る応募があり、その中から選ばれた皆さんは、大村純忠終焉の館(坂口町)や本経寺大村藩主墓所を訪れ、ボランティアガイドの説明を聞き大村の歴史の奥深さに感銘を受けていました。

その後、大村産食材の昼食を堪能し、高速旅客船で横瀬浦まで約2時間の大村湾クルージングを楽しみ帰路に着きました。



全国各地でレクリエーション活動などに関わっている人たちが18,000人が長崎県に集う「第63回全国レクリエーション大会」が開催されました。

長崎市の総合式典に参加した皆さんは県内20種目の交流大会や研究フォーラムなどの会場に分かれ、大会会場では、3B体操、ドッジボール、郡岳ウォーキングに約4,600人が参加し、生涯スポーツ、生涯学習の振興と交流を図りました。



市街を一望できる野岳地区の鉢巻山山頂(標高334m)に、赤や白のヒガンバナが咲き始め、ひがな花まつりが開催されました。地元の方々が山頂に植栽した100万本のヒガンバナ群落地は市内でも秋の風物詩になっており、見頃を迎えた9月下旬には、多くの家族連れでにぎわいました。

大村を中心とした広域観光ルートの開発を目指して

▼大村湾日帰りクルージング・モニターツアー

9月

18-27



灯りほのかに夕暮れさるく

▼大村城下町灯籠まつり

10月

8~10

旧楠本正隆屋敷(県指定文化財)を中心に「大村城下町灯籠まつり」が開催され、ライトアップされた旧楠本正隆屋敷では、8日・9日にお茶会が、10日は月をテーマにミニライブが行われ、色づきはじめて秋の庭園に響き渡る美しい音色に、訪れた皆さんは魅了されました。また、夕暮れの城下町を散策する「殿様気分で夕暮れさるく」の参加者は歴史観光ボランティアガイドの説明を聞きながら玖島城跡や武家屋敷などの名所・旧跡を散策しました。

さらに10日は大村公園内の大村神社周辺で、1,000本の竹灯が灯され、幻想的な雰囲気 연출しました。

レクの鐘鳴らそうながさきいい出会い

9月

19-21

▼第63回全国レクリエーション大会inながさき

山頂はカラフルなじゅうたん

9月

21-23

▼鉢巻山ひがな花まつり

